

歩いて友情深める

鳥取ー韓国・原州 ピースウォーキング 80人意気揚々

鳥取市スタート

鳥取市から韓国・江原道の原州市まで計210キロを歩く「2014日韓ピースウォーキング」(実行委員会・大韓ウォーキング連盟)の県庁前をスタートし、境港市までを5区間に分けて歩き、米子ーソウル便で韓国に大韓ウォーキング連盟の会旗をつなぐ。初日は

韓国の高校生を含む約80人が参加し、友情と交流を深めた。

2010年に続き2回目。鳥取県と江原道の友好交流20周年などを記念して開いた。区間ごとの参加者のほか、8人が全行程を歩

く。原州市には10月24日にゴールする。県庁前で行われた出発式で岸田寛昭大会長は「一緒に歩く姿を地域の方に見ていただくことで、互いに仲良くなる一歩としたい」とあいさつ。大韓ウォー

キング連盟の李康玉理事長も「歴史のピースを飾る大切な瞬間。友情と愛情を確かめながら歩きたい」と述べた。

韓国民謡アヒランと日本の唱歌「ふるさと」を歌ったあと、韓国に向け出発。全行程を歩く中原都さん(64)は「両国の事情に関係なく歩くことで友情が深められる。言葉が通じなくても、気持ちで通じ合える関係を大切にしたい」と話した。



韓国まで大会旗をつなぐ日韓ピースウォーキングに出発する参加者。6日、鳥取県庁前